

コスモス

地域版
第2号



平成19年
4月

赤磐医師会病院基本理念

- 🌸 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- 🌸 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- 🌸 かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。

地域における病院の役割 1

えんげしょうがい
「嚥下障害について」

赤磐医師会病院 内科
堀内 武志



はじめに

赤磐医師会病院に勤務して3ヶ月が過ぎました。自治医科大学でへき地医療、地域医療を学び、卒業してからは地元岡山県で臨床医を続けてきましたが、今あらためて地域における病院の役割とは何かを考えてみたいと思います。

当院は地域医療支援病院の指定をいただいておりますが、これはかかりつけ医の皆様、地域の医療・介護施設の皆様と密に連携して地域医療を担っていく病院であるということです。病気のうち9割以上が、高度医療の提供を目的とした専門病院に行かなくても、地域の医療機関で治療が可能であるといえます。それらの病気を適切に治療し、そして有益な医療情報を発信し続けるのが地域における病院の大きな役割だと思えます。今回は嚥下障害について述べさせていただきます。

ていただきます。

嚥下障害について

食物や水分を飲み込む動作のことを、「嚥下（えんげ）」といいます。「食物を口に入れ、かんで飲み込む」ができないことを「嚥下障害（えんげしょうがい）」といいます。長寿化し高齢化社会がすすむにつれて嚥下障害の方が増えてきています。

嚥下障害は「生命および人生の質と直結する重大問題」で、食物を摂取できないことから生じる脱水症・栄養不良、生命の維持にかかわる問題、食べたものが食道に入らず気管・肺に入ること（誤嚥（ごえん））による窒息や（誤嚥性）肺炎の問題、自分で食べられなくなり、鼻からや胃ろう（直接に胃の中に栄養や水分を注入する穴をおなかに開けること）からのチューブ栄養（経管栄養）をしたり、

平成18年4月～平成19年3月診療実績

患者数	外来患者	44,057
	入院患者	2,029
	救急医療患者	3,371
手術件数	外科	155
	整形外科	149
	泌尿器科	36
内視鏡件数	上部内視鏡	1,226
	下部内視鏡	515
	その他内視鏡	50
放射線件数	C T	3,164
	M R I	1,366
	マンモグラフィ	116
超音波件数	腹部超音波	749
	心臓超音波	414
	乳腺・甲状腺超音波	62

院内ギャラリー



専敬本流 いけばな 稲田昌瑛様の作品です。

当院の正面玄関に入ってすぐ、心にやすらぎをもたらしてくれます。

点滴栄養をすることによる「食べる楽しみ」の消失、QOLの低下、の問題の3つがあります。

嚥下障害の初期症状は「食事がつかえる、むせる」ことが多く、他に「よだれが増えた」「やせた」「繰り返し肺炎をおこした」などがあります。嚥下障害がある場合、一番むせやすいのは水などの粘り気のないさらさらとした液体です。また、食事中にガラガラ声になる場合は、のどに食べ物が残りやすいということで、誤嚥に注意するサインです。

嚥下障害の原因には、認知症や脳血管疾患（脳梗塞や脳出血）、パーキンソン病などの神経筋疾患、頭頸部の手術後等さまざまなものがあります。簡単な嚥下障害のスクリーニングテストとして、RSST（反復唾液嚥下テスト）と水飲みテストがあります。RSSTは、30秒間に何回の空嚥下（つばを飲み込むこと）ができるかをみるテストで、3回以上が正常です。水飲みテストは、座位で常温の水30mlを飲み、1回でむせることなく5秒以内に飲めた場合を正常と判断します。さらに専門的な嚥下検査として嚥下造影（VF）、喉頭内視鏡検査（VE）などがあります。嚥下造影は診断と治療にかかわる非常に大切な検査で、どのような食べ方がよいか、何が安全に食べられるか、などが判断できます。

嚥下障害と診断された場合は、その原因となっている病気の治療をしっかりと行うのがまず基本です。嚥下障害が軽度の場合は食材の工夫と摂食時の体

位・食べ方の工夫で代償できる場合があります。さらさらした液体、口腔内でバラバラになる物、パサパサした物、口腔内や咽頭に貼り付きやすい物、粘りの強い物、ツルツルした物、硬い物、酸味の強い物を避けます。ミキサー食、ペースト食にしたり、水分にとろみをつけたりします。口腔ケアといって、口の中の清潔を保つのは必須です。食事の際の体位は背もたれの角度をさげ（30～45°）頸部を前屈させた「リクライニング位」が誤嚥しにくいですが、食道は気管より後ろにあるので、背もたれを倒すことにより重力の力で食物が下側の食道に落ち、誤嚥のリスクを減らします。片麻痺の場合、麻痺側に向けて嚥下するという方法もあります。その他いろいろな工夫があります。中等度以上の嚥下障害には、必要に応じて嚥下リハビリテーション（摂食機能訓練）を行います。これらの努力でも経口摂取が難しい場合には経管栄養や中心静脈栄養を行うこととなります。

以上、嚥下障害の概論を述べさせていただきました。日本消化器病学会ホームページにも小文を書かせていただいています。そちらもご参照ください（<http://www.jsge.or.jp/citizen/kouza/2005/40tyugoku.html>）。今まで嚥下障害の診断と治療を続けてきましたが、なかなか大変だと痛感しています。少しでも安全に、喜んで食べていただけるようお役に立てたらと祈念しております。



かかりつけ医をもちましょう 家族みんなの健康のために

病院駐車場の入り口にこんな白い塔が（けっして白い巨塔ではありません）見えます。

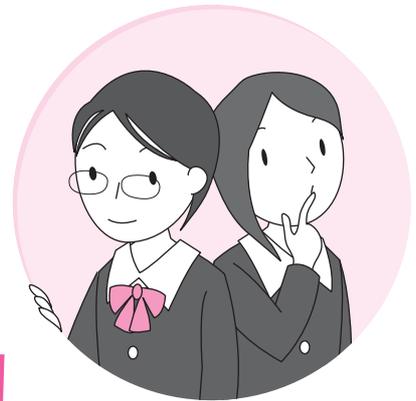
かかりつけ医とは、家族の日常的な診療や健康管理をしてくれる身近なお医者さんのことです。そんな「いつもの診療所（医院）」の信頼できるお医者さんを持ちましょう。

1. 比較的待ち時間が短く、受診の手続きも簡単でじっくり診察してくれます。
2. 入院や検査が必要な場合などに、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえます。
3. 食事面など、日常の健康管理のアドバイスをしてくれます。
4. 家族の病状、病歴、健康状態を把握しているので、いざというときにすぐ対応してもらえます。

文部科学省関連事業

岡山理科大学理学部臨床生命科学科・
清心女子高等学校理系の 学生さん37名が

臨床検査科他 病院内見学で来院!



(平成19年3月14日)

後日
学生さん達の
熱い感想が
寄せられました



普段立ち入ることのない場所や検査機器を見ることができ、非常に興味深いものでした。私自身臨床検査技師としての広い領域の中で病理に興味があります。検体検査部門を見学してよりいっそう自分が目指すべき進路が決まったように思います。(岡山理科大学生)

病院といってもイメージとしては医師、看護師、薬剤師くらいしかありませんでした。でも機械を使う専門の人、リハビリをする専門の人、検査の結果を調べる専門の人さまざまな人が関わっていることを知りました。たくさんの方が私たちの健康をサポートしてくれているのだと思うと普段何気なく行っていた病院に対する見方が変わりました。

(清心女子高校生徒さん)



病院の規模はあまり大きくないように感じましたか。設備が整っていたように思いました。また今回の見学を通して患者さんの目には見えない所で臨床検査技師の方、また患者さんのお世話をしてくださる看護師の方などのおかげで私たちは助けられていることがよく分かりました。将来、私も人の役に立てることのできる仕事に就きたいと思いました。(清心女子高校生徒さん)



病院の先生が、みんな話をする時生き生きしていて本当に病院での仕事が好きなんだなあ、と思いました。見学していて気付いたことは結構お年寄りの方が多いことです。でも先生達がみんなやさしい人なのでお年寄りの方はいい所に来たなあと思いました。(清心女子高校生徒さん)

学生のみなさん、これからの活躍期待していますよ!!

PicUp!!



が ん ば っ て ま す !!

臨床工学技士

1 臨床工学技士って何？

臨床現場において生命維持管理装置の操作・保守管理業務に従事する（国家資格、昭和63年4月1日から施行）医療専門職のことで、生命維持装置の無資格者での操作が禁止されていることも意味しています（業務独占ではありません）。岡山県では川崎医療短期大学臨床工学科、岡山理科大学理学部応用物理学科、倉敷芸術科学大学生命科学科にて技術者の養成がされています。

< 一般的な業務内容 >

- ▶ 血液透析装置・血漿交換装置などの血液浄化業務
- ▶ 人工心肺装置・IBAPなどの人工心肺業務
- ▶ 人工呼吸器などの呼吸療法業務
- ▶ 高気圧酸素治療装置、装置内で使用する機器など高気圧治療業務
- ▶ 手術室・集中治療室を中心に除細動器・ペースメーカー・輸液ポンプ・シリンジポンプ、患者モニタなどの各種医療機器の保守点検業務を行う様々な業務

2 どんな仕事？

- A. 人工透析機器の操作・保守管理（血液透析・血漿交換、腹水濃縮などの血液浄化業務）
 - ▶ 治療開始前～治療終了後の装置の消毒及び洗浄まで行います。
 - ▶ 看護業務と重複する部分もあります（穿刺業務も行います）。
 - ▶ 患者情報（検査の結果等）の管理。
- B. 病棟での人工呼吸器の点検・保守管理
- C. 医療機器の修理
 - ▶ 輸液ポンプ、血圧計など様々な機器の修理・点検も行っています。除細動器（AED）などに不具合が生じた場合も対応しています。

3 臨床工学技士へ質問

- Q1** スタッフの人数は？
 - A** 女性1名、男性2名です。
- Q2** 業務中にヒヤッとした事は？
 - A** 平成18年10月ごろ日勤帯で停電があったことです。透析が稼動し人工呼吸器も使用中でしたが、すぐに自家発電機が作動し事なきを得ました。常日頃から発電機についても防災係と連携し、患者様の安全確保に努めます。
- Q3** 今後の課題は？
 - A** NI P P V（マスク型呼吸器：挿管しなくても使用可能な人工呼吸器）を、治療に用いるために機器の管理面からも医師との連携を更に深めていきたいと思えます。



緑の下の力持ち。目立たないけどとても重要な部署なんですね！頼りにしています♡



豆腐白玉の小豆あんかけ

(嚥下しやすく、咀嚼しやすい)

作り方

Aをよく混ぜ、耳たぶくらいの硬さにする。
一口大に丸めて湯に入れ、浮き上がるまで煮たら、水にとる。
器に入れ、小豆あんをかける。好みに生クリームをかける。

クッキング・ポイント

白玉団子を食べやすく小さく丸めて、
つぶした豆腐を入れてみましょう。
白玉粉だけでは口に入れたときにすべ
りがよすぎるので、上新粉を同量加えて
います。



材料(2人分)

1人分 236kcal

A { 上新粉 40g
白玉粉 40g
砂糖 大さじ1
絹豆腐 50g
水 大さじ1~2
ゆで小豆(缶詰)... 80g

「家庭でできる高齢者ソフト食レシピ」 監修：黒田留美子 河出書房新社より



あとかき

コミュニケーション
(対話)

スマイル
(笑顔)

モビリティ
(機敏性)

スキル
(技術)

今年も病院東側の砂川沿いには桜並木がみごとに広がっています。地域の方々のご努力によって毎年約170本の桜の木に愛らしい花びらが咲き誇り患者さまやご家族の方、また近くを通られる住民の皆様的心を引き寄せてくれます。地域特産の桃の花も畑をあざやかに染めまさに春爛漫。新人職員もピカピカの制服ではりきっている姿がまぶしいです。なにか良いことがありそうな、頑張れそうな、そんな新年度を迎えました。地域の皆様のお役にたてるような広報誌をめざしています。ご意見お待ちしております。(編集部)



地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.np.jp http://www12.ocn.ne.jp/ akaiwahp/

発行日 平成19年4月15日

